

# 感染症時代の企業経営

戦前日本から考える



清水 剛

東京大学 教授

## 著書紹介

『合併行動と企業の寿命  
—企業行動への新しいアプローチ』  
清水剛 著（有斐閣 2001年10月）

『感染症と経営：戦前日本企業は  
「死の影」といかに向き合ったか』  
清水剛 著（中央経済社 2021年4月）

## 専門分野

○企業システム ○企業経営と法

今年度のセミナーシリーズ『コロナ禍と経営』の第一弾となる今回の講演では、コロナ禍と経営との関係について、やはり感染症の大きな影響の下にあった戦前の企業経営を参照点としながら考えていきます。感染症の下での経営というのは実は戦後の長い間起こっていなかった状況であることから、この講演では戦前において感染症が社会にもたらしたインパクトとそれに対する企業の対応を見ていくことを通じて、ポストコロナ時代の経営の方向性を探っていきます。

## 司会紹介



島本 実

一橋大学 教授

## 専門分野

○経営史

2022年9月26日(月) 19:00~20:30

丸の内シリーズ企画・第1回（全4回）

（初回のみ無料・ZOOMオンライン開催）

※参加申込は、9月20日（火）まで

参加申込サイト：  
<https://forms.gle/YV53BkSAGWKaAy5V6>

協力：三菱地所株式会社